



2022年5月30日

鈴与商事ニュースリリース

鈴与商事株式会社
経営企画部長 佐野 博紀

鈴与エコプロダクツ株式会社における袋井事業所第2工場竣工について

鈴与商事株式会社（本社：静岡市、代表取締役社長：加藤 正博、以下、鈴与商事）の子会社である鈴与エコプロダクツ株式会社（所在地：菊川市、代表取締役：鈴木 忠彦、以下、鈴与エコプロダクツ）は「袋井事業所第2工場」の新築工事が2022年5月30日に無事竣工し、6月1日より本格稼働する運びとなりましたことのお知らせ致します。

鈴与エコプロダクツ袋井事業所では、ポリ容器の洗浄リユース事業を営んでおり、容器の回収・洗浄からお客様へのお届け、またリユース不適合品の再生プラスチック原料へのリサイクルまで、一貫したサービスを提供しています。現在稼働中の第1工場における処理本数は年間180万本に達しておりますが、プラスチックごみ削減に対する企業意識の高まりにより、今後も更なる需要拡大が見込まれることから、隣接地（土地面積：49,608㎡）へ第2工場（建物面積：3,457㎡）を建設致しました。これにより鈴与エコプロダクツ袋井事業所は、第1工場（土地面積：10,106㎡、建築面積4,148㎡）と合わせ、土地面積：59,714㎡、建物面積：7,605㎡の規模となります。加えて、最新の廃水処理設備を併設するなど、品質・生産性・物流の無駄や作業環境の改善を図っています。

また、2022年4月1日に施行されたプラスチック資源循環促進法を背景にリユースへの期待が高まり、新たな引合いが増加していることから、2030年には年間300万本の処理を目指し、順次、新たな需要に適合する機械装置の導入を進めて参ります。

そして、プラスチックのリユース・リサイクル事業を通じ、企業理念である「もったいない」と「きれいに」を『かたち』にすることで、持続可能な社会の実現を目指して参ります。

【エコプロ袋井事業所の概要】

- 所在地 静岡県袋井市見取1924-3
- 土地 約59.7千㎡（第1工場約10.1千㎡）
- 建物 約7.6千㎡（第1工場約4.1千㎡）
- 主な業容 業務用ポリ容器洗浄リユース（2L、10L、20L、200L）
通い箱の洗浄リユース、廃水処理（中間処分：活性汚泥処理—廃アルカリ）
リユース不適合容器のリサイクル（中間処分：破碎処分—廃プラスチック類）
ラベル装着新缶容器の販売、破碎プラ資源の販売
- 処理可能量 第1工場：約5,600本/日
第2工場：約2,600本/日 ※ライン増設により、処理可能数量増加予定

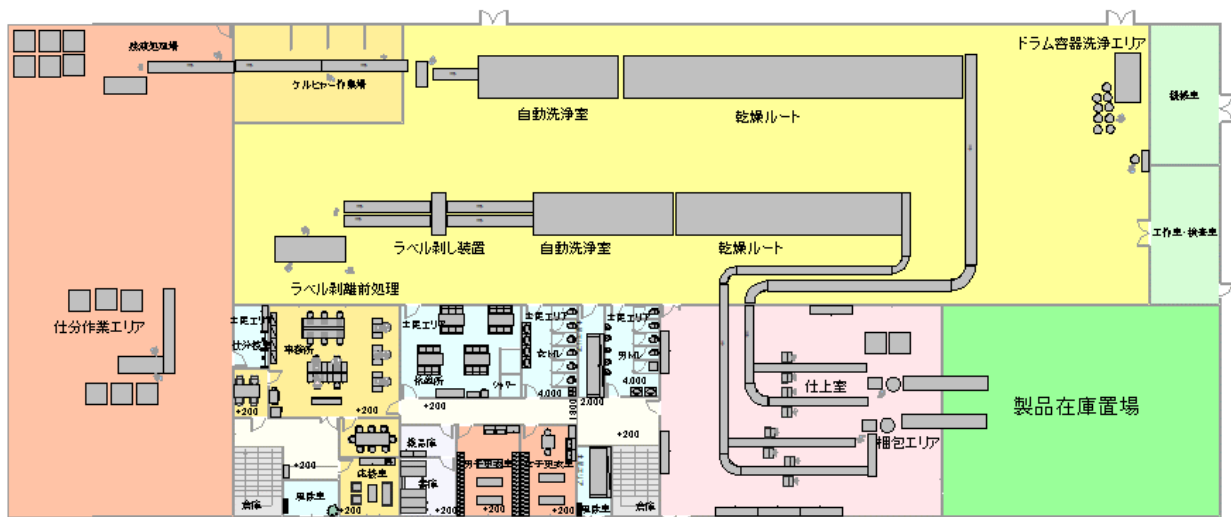
(袋井事業所地図)



(第2工場外観)



(第2工場レイアウト図)



【竣工式について】

- 日 時：2022年5月30日（月）10:00～11:00
- 場 所：静岡県袋井市見取1924-3 エコプロ袋井事業所
- 次 第：・斎 主 府八幡宮 竣工式典
・施主挨拶 鈴与商事株式会社
代表取締役社長 加藤 正博



(左から)

鈴与エコプロダクツ：鈴木 忠彦 代表取締役

鈴 与 商 事 ：高橋 浩明 専務取締役

加藤 正博 代表取締役社長

杉山 高広 取締役副社長

片岡 裕喜 取締役

鈴 与 建 設 ：大石 泰明 代表取締役社長

※写真撮影のため、一時的にマスクを外しました。

【鈴与エコプロダクツの概要】

- ・資 本 金：9千万円
- ・所 在 地：静岡県菊川市嶺田1813-5
- ・設 立：1967年2月
- ・従 業 員：70名
- ・H P：https://www.suzuyo-eco.co.jp/
- ・事業概要：菊川事業所 … PETボトルのリサイクル業務
袋井事業所 … ポリ容器の洗浄リユース、リサイクル

- ・鈴与エコプロダクツは、2013年9月、株式会社エコリング（菊川事業所）と鈴与エコサイクル株式会社（袋井事業所）が合併し発足しました。
- ・菊川事業所におけるPETボトルリサイクル事業は、従来のフィラメント、特殊フィルムの需要に加えボトル to ボトル向けの製造販売に注力しております。
- ・袋井事業所におけるポリ容器リユース事業は、従来の業務用洗剤メーカーに加え、販路を薬品容器洗浄受託にまで拡大し、国内シェアNo1を堅持しております。今後は個人向け容器リユースへと幅広く展開を進めて参ります。
- ・また、エコアクション21の環境認証を取得し、環境への貢献を両事業所共に担っています。

以上

《本件に関する問い合わせ先》

鈴 与 商 事 株 式 会 社

経 営 企 画 部

0 5 4 - 2 7 3 - 7 8 3 2

s-info@ss.suzuyoshoji.co.jp